

■平成28年度執行目標（達成状況） 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目 (単位)	根拠計画等	H28年度 実績値	H28年度 目標値
教育部	学校教育課	1	学校施設の耐震化等の整備	恭仁小学校耐震補強工事（第3工区）の実施 棚倉小学校の解体・外構整備工事の実施 上狛小学校の解体・改築工事の実施	一部未達成・成果小	恭仁小学校耐震補強工事：平成29年3月24日完了検査済 上狛小学校の解体・改築工事：平成29年3月30日完了検査済 棚倉小学校の解体・外構整備工事：平成29年4月27日まで工期延期（3月議会で繰越予算議決）	年度内工事出来高率（%）	木津川市立小中学校耐震化改修計画	66.7	100
教育部	学校教育課	2	児童送迎バスの効果的運用	当尾地区から南加茂台小学校への児童送迎バス運行について、バス借上げによって事業実施していたものを、バスを購入して運行を委託することとし、経費の削減を図る。あわせて、購入バス車両の有効的な利用について検討を行う。	概ね達成	南加茂台小学校児童送迎バスの購入にあたり、入札、契約等を行った。 また、バスの有効利用を図るための京都府への協議、その上での内部協議・検討も行った。 その上で、購入したバスの有効活用について、運行管理委託業者及び市内学校との調整がつかなかったが、バスの空き時間を中学校のクラブ活動送迎や小学校の校外学習に利用する等、平成29年度に向けての調整を図った。				
教育部	学校教育課	3	質の高い教育の創造を目指した学力充実・向上の推進	木津川市の子どもたちが、未来の社会を「自立・協働・創造・自活」しながら豊かに生きていく基盤を培うため、すべての子どもたちが確かな基礎学力を身に付けられるよう、また一人ひとりの能力と個性を伸ばす「質の高い教育」の創造をめざして、学校と教育委員会が連携した学力充実・向上推進会議を立ち上げる。 また、家庭学習支援講座の実施、補充学習事業の継続等、学習支援施策の拡充を図る。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	本会議の開催により、小小連携・小中連携を通しての互いの取り組みと、9年間の見通しを持って学力を伸ばしていくことの大切さが理解できた。 今後も、引き続き小小連携・小中連携による交流・協議・啓発を進め、新学習指導要領への対応や先進校、先進地等への積極的な視察研修を行い、市立小中学校の学力向上を図る。				
教育部	社会教育課	1	高齢者教育事業における手法等の見直し	①生きがい大学の講座については、開講式・夏期講座・近隣市町村巡り・社会見学・教養講座・閉講式で構成されており、すべての講座がバス（市有バス及び借上げバス）による送迎が実施されている。については、次の2項目において、検討、見直しを行う。 ・社会見学における事業実施方法について、従来の社会福祉協議会への委託方式から市直営方式に見直しを行う。 ・バス送迎については、夏期講座の開催にあたり、公共交通機関を利用していただくことにより、大学生以外の方々とのふれあい、出会いの機会を持っていただける観点から、バス使用の見直し検討を行う。 ②受講生のさらなる増加に向けた事業内容の充実や受益者負担の観点も含めた受講料等について、生きがい大学運営委員会等において、1年間をかけてトータル的な見直しを行う。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	生きがい大学におけるバスの運行については、全事業についてバス運行を行うことで方針決定に至った。社会見学については、社会福祉協議会への委託を廃止し、市において実施（旅行業法に基づき旅行業者に発注）した。事業内容については、生きがい大学の運営委員会において、調査、研究を行い、参加が少ない夏期講座、教養講座を開講式、閉講式に組入れることとし、平成29年度生きがい大学については、4事業による実施とした。	延べ参加者数（人）	木津川市生涯学習推進計画	1872	2640
教育部	社会教育課	2	中央体育館屋根等改修	中央体育館における雨漏り対策（屋根及び外壁の改修）、地震時の安全を確保（吊り天井の撤去）、照明等の設備更新について、平成30年4月完成を目標に事業を進める。（平成28年度は実施設計をし、平成29年度当初予算に工事費等を計上予定。）	優秀に達成（困難事項・成果大等）	計画どおり年度内に実施設計が完了した。平成29年度工事着工に向けての設計図書作成、入札事務進行中、平成30年6月工事完了を予定している。	利用者（人）	木津川市生涯学習推進計画	70141	69260
教育部	文化財保護課	1	文化財保存活用基本計画に基づく各種事業の進行	平成27年度において策定した木津川市文化財保存活用基本計画に基づき、各種事業を進める。 これまで未実施の市内文化財の調査を開始し、文化財台帳の整理に取組み、今後の文化財指定に向けたデータ整備を図っていくものとする。対象数が多いことから長い時間を要する作業であるが、地道に取組を進めていく。史跡の保存・活用を推進する。史跡恭仁宮跡及び史跡神雄寺跡について公有化を継続する。史跡高麗寺跡は昨年度で造成工事等が完了し、今後、5年間での整備を予定しており、本年度は、講堂跡及び回廊跡の整備に取組む。史跡椿井大塚山古墳については石垣安全対策工事を実施する。	概ね達成	木津川市文化財保存活用基本計画に基づき、市文化財行政を推進。 史跡高麗寺跡においては講堂・回廊跡、金堂跡の史跡整備工事に着手。 鹿背山城跡は調査委員会の意見を踏まえ国史跡指定に向けた各種調査を実施した。 椿井大塚山古墳安全対策工事（石垣の切下げ、排水対策等）を完了した。 今後も文化財保存活用基本計画等に基づき計画的な史跡整備、文化財保護行政の推進を図っていく。				
教育部	文化財保護課	2	文化財保護啓発事業の推進	ふるさと学習（歴史学習）の推進（小中学校への出前授業の推進） 各種団体などとの連携による文化財の啓発・学習事業の推進	概ね達成	年4回のふれあい文化講座の開催のほか、学校や要請があった団体等に対し、積極的に出前講座等を実施するなど文化財の保護啓発に努めた。今後も更なる啓発に向け継続して取り組む。				
教育部	文化財保護課	3	市内文化財の保全・修理事業の推進	浄瑠璃寺：国宝阿弥陀堂背面保全修理、三重塔周りの危険木の伐採等 相楽神社：透塀修理等	概ね達成	浄瑠璃寺：国宝阿弥陀堂背面保全修理、三重塔周りの危険木の伐採等 府の社寺等未指定文化財補助として、天王神社本殿修理事業、天神神社透き塀修理事業等上記事業等に対する補助を行った。今後も継続して市内文化財の保存・修理に取り組む。				